

2016年5月10日

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

ソーラーフロンティアの CIS 薄膜太陽電池、 メキシコの農地向け太陽光発電所に採用

エニルソ社が進めるアグリビジネスに協力

【東京－2016年5月10日】－ソーラーフロンティア株式会社（代表取締役社長：平野敦彦、本社：東京都港区台場 2-3-2、以下：ソーラーフロンティア）は、メキシコのソノラ州および周辺地域における住宅向け・農地向けの太陽光発電プロジェクトについて、CIS 薄膜太陽電池が採用されましたのでお知らせいたします。これらのプロジェクトは、同国において急成長を続けるソーラー企業のエニルソ社が開発を手掛け、2016年第3四半期までに完工する予定です。

住宅向け太陽光発電所は、それぞれ 5～10kW 規模で、所有者は電気代を大幅に削減することができます。また農地向け太陽光発電所は、それぞれ 200-500kW 規模で、つくられた電力は作物用灌漑ポンプや農産物の冷却・冷凍・産業用処理などに自家使用されます。ソノラ州において、今回のようなアグリビジネスは重要な経済活動であり、乾燥した気候に適したアスパラガス・葡萄・メロンなどが栽培されています。これらの農地では、スマートエネルギーへ投資を通して、エネルギーの自給率向上およびコスト削減を目指しており、その資金を農具の購入などに充てることで、農業経営の安定化を図っています。

エニルソ社の創業家は以前より農業を営んでおり、太陽光発電を本業に役立たせることを考え、2010年に小規模の太陽光発電プロジェクトに着手しました。その後、徐々にサービスの幅を拡大させ、メキシコの住宅用および商業用の太陽光発電市場において成長を続けています。

ソーラーフロンティア・アメリカズの最高執行責任者（COO）チャールズ・ピメンテルは、次のように述べています。「エニルソ社は持続性に優れた経営を行っており、同社の太陽光発電プロジェクトは、設備と開発の面から大変クオリティの高いものです。」

エニルソ社の最高経営責任者（CEO）グスタボ・ボルクエゾ（Gustavo Borquez）氏は次のように述べています。「メキシコの厳しい気候条件の下で、安定的に高い実発電量を実現する太陽光発電システムを提供すべく、ソーラーフロンティアの太陽電池を採用しました。」

ソーラーフロンティアの CIS 薄膜太陽電池は、結晶シリコン系と比較して温度係数が低いため、ソノラ州の暑い気候においても出力ロスが抑えられ、優れた実発電量を実現します。ソーラーフロンティアは今後とも、世界中のお客様に快適でクリーンな暮らしをお届けしてまいります。



ソーラーフロンティア製 CIS 薄膜太陽電池が採用された米メキシコ州の太陽光発電所
(写真提供：エニルソ社)

以上

【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社（5002, T）の 100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011 年 2 月より商業生産を開始した国富工場（公称生産能力 900 メガワット）は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売する CIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量（kW）あたりの実発電量（kWh）が従来型のものに比較して高だけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPVM 認証（JIS Q 8901）」などの第 3 者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第 2 回ものづくり日本大賞」で優秀賞（製品・技術開発部門）、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2007 年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。当社公式の[ブログ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 コーポレートコミュニケーション部
吉田・八宮 TEL: 03-5531-5792